

(法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の事業報告書」)

令和 4 年度事業報告書

令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 水辺に遊ぶ会

1 事業実施の実績

① 自然に関する理解を深めるための啓発活動の推進

- ・ COVID-19（新型コロナウイルス感染症）についてはウィズコロナが定着し、患者数の急増時を除いて一定の対応をとることで平常時とほとんど変わらない行事運営ができるようになった。
- ・ 恒例の干潟観察会は春夏ともに 200 名を越える参加者が集まった。前年度から参加者が増えており、駐車場対応など新たな取り組みが必要となった。
- ・ 今年度が 3 年助成の 2 年目となり地球環境基金関係の事業は昨年に引き続き、イオンモール三光において、ポスター・映像写真展を 2 回行った。
- ・ 2 年前からはじめた 7 月 1 日の中津干潟の日記念行事は、産業道路のロードクリーンと小幡記念図書館での写真展、中津干潟のおかあさん「山国川の自然と石橋 懐かしポスター展」を実施した。本プログラムが定着するよう努力を続けていきたい。
- ・ Savejapan プロジェクトの助成をいただき、ベッコウトンボ観察会、夏休みのガタフェス 4（子どもアカデミア）、海ごみワークショップ、アカテガニ産卵観察会、秋の干潟観察会を実施した。セットバック護岸の重要性について考える Eco-DRR イベントを実施した。
- ・ 第 6 回中津の海の絵コンテスト、TOTO リモデルフェアにおいてポスター展示を行った。
- ・ コープ大分の助成事業として、海苔すき体験など各種事業を実施した。
- ・ 第 6 回「中津干潟アカデミア・研究発表会」は昨年度同様、屋内行事であるため、観客を入れての開催はできなかった。代わりに YouTube を利用したネット中継を試み概ねうまくいった。内容としては、Eco-DRR（自然の力を活かした防災・減災）をテーマにパネルディスカッション形式で意見交換を行った。
- ・ 市民が気軽にネイチャーセンターに立ち寄る「ひがたかふえ」は zoom を利用し 1 回だけの開催となった。複数開催を目指していただけに少々残念な結果となった。
- ・ 主に小学校での自然授業、観察会はほぼ例年通りの実施となった。会所属の環境教育アドバイザーの増強によって、より多くの中津市内の学校にアプローチできると考える。
- ・ 河川協力団体として、出前授業、山国川おサカナ観察会などを実施した。
- ・ テレビ・ラジオ・新聞などへの取材協力を行った。NOASFM、毎日新聞、読売新聞、大分合同新聞、OAB、ケーブルテレビ等から取材を受け広報につながる成果を残した。

② 調査研究活動

- ・ 中津市より中津干潟及び野依新池の調査委託があった。干潟の調査では、カブトガニの新しい産卵地を発見することができた。また、春の渡りで小型の渡り鳥トウネンが多く観察された。キアシシギ・オオソリハシシギの減少が続いていることも分かった。後背湿地の減少が心配される。野依新池及び干潟保全の提言書をまとめた。
- ・ カブトガニ関連の調査は、例年同様に産卵、幼生の個体数、混獲された成体などについて調べた。今年度は、キズのある個体が少なく、混獲される個体は多かった。また、昨年に続き遅い時期まで網にかかった。
- ・ 中津干潟の調査は、大阪南港ウェットランドグループをはじめ、協力者のおかげで、相対的にも中津干潟の重要性がますます高まってきたことが示された。今期は、地球環境基金の協力で「シギ・チドリ類レポート 2022」を作成・配布した。
- ・ 野依新池の調査では、トンボ類を中心に植物、水生生物などについて行った。水深ロガーも設置したことから、発生数との相関についても今後調べていきたい。
- ・ 地球環境基金の協力で、ヨシガモによる捕食やブルーカーボン関連の知見を得るためコアマモのプレ調査を実施したほか、ベントス類についても適宜の調査を実施し、報告書をまとめた。
- ・ 水産大学校、日本文理大学など複数の大学の調査に協力すると同時に、当会の調査活動にも一部協力いただいた。
- ・ 今年度から JEAN の海ごみ調査に加え、全国川ごみネットワークの調査に参加した。

③ 海岸清掃ほか環境美化や廃棄物問題に関する啓発活動

- ・ 海岸清掃、松林景観再生活動は、新型コロナウイルスの影響を受け、参加人数が伸び悩んだものの 5 月、9 月と 12 月の大新田で行うことができた。また、3 月の三百間ビーチクリーンは雨天のため中止となった。
- ・ 昨年度から蛸瀬川のゴミ問題に取り組み、地元、県土木事務所とゴミ回収の方法などについて対話を重ね、リバークリーンを実施した。また会員 1 名が 1 年を通して主に左岸側のプラスチックゴミを回収した。
- ・ 県立工科短期大学の海岸清掃と松林整備を実施した。また、城北中学校の全校生徒が参加し三百間浜でビーチクリーンを行った。さらに、小楠小学校が今年もビーチクリーンと松林整備を行った。
- ・ 中津干潟の日に合わせて、産業道路と競秀峰周辺で石橋ロードクリーンを実施した。

④ ブルーツーリズムなどの地域振興を推進する活動

- ・ アカシ染めのワークショップは、6月に漁師レストランひだまりで開催した。当会としては高額な参加費ではあるが、春から初夏の定番行事として広げていきたい。
- ・ 3月に海苔すき体験のワークショップを実施した。角木地区の海苔漁師は増田さんだけとなっているが、毎回好評をいただいております。今後も継続して続けられるよう努力したい。

⑤ 自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信

- ・ ガタガタ通信は予定通り年4回発行した。
- ・ HPのアクセス数は昨年の31000件から35,000件と微増となった。さらなる増加を目指してSNSの活用、HPをスマートフォン向けに改装する必要があるものとする。
- ・ 今期は、正会員向けにメールマガジン「ガタガタマガジン」を概ね週1回のペースで発行した。これまでブラックボックスに近かった業務の内容が伝わったものと期待する。今後は、一般会員向けのメールマガジンの発行も検討したい。
- ・ 環境保全やNPO経営など各種の勉強会に15回ほど出席し、地域のオピニオンとしての役割も果たすため情報収集活動を行った。
- ・ 3月に保全の公的枠組みについての勉強会を開催した。ラムサール条約や指定地などの状況、新しい動きであるラムサールシティについて学ぶことができた。
- ・ 2030年までに海と陸地の30%を保護区にするという30by30に合わせ、新たに進められているOECMの最新の動向について学び、今後、中津干潟の一角を指定する動きに繋がっていききたい。

⑥ 民間および公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など

- ・ 舞手川河口で実施している養浜の試みが8年になるがカブトガニの産卵場所の確保と海岸の保全、河口閉塞の防止という面で効果を上げている。今後も調査、モニタリングを継続したい。
- ・ 中津市環境審議会、大分県うつくし作戦県民会議自然保護観光部会など行政の設置する会議への参加、提言等を継続的に行っている。
- ・ 野依新池に関連して、周辺環境の悪化が懸念されたため、県の自然保護推進室、及び農業基盤整備担当部署などに状況説明と悪化を防ぐための措置をお願いした。ベッコウトンボは、中津市の天然記念物の種指定が進められており、今後は、さらに県の天然記念物の指定などを目指して活動したいと考える。
- ・ マスコミ対応として、NHKのウオカツ収録およびイベント開催への協力を行った。
- ・ マスコミ取材、情報提供なども適宜実施した。
- ・ この他にも大学の研究支援、協働、民間調査協力、情報提供など。
- ・ 行政関係者に適宜、情報提供、提言、協力なども実施した。

⑦ 持続可能な社会を追究するためのその他の活動

- ・ 組織基盤強化及び持続的な経営の確立を目指して徐々に分散化をすすめている。理事による定期的な情報交換会を実施するようになり、また、正会員の交流なども視野に入れている。今後も管理業務及び事業実施業務の分散化、組織の高齢化、関係者のスキル不足、若手の担い手不足など課題を一つ一つ解決していきたい。
- ・ 上記の問題に対応して、事業マニュアルの作成を続けている。主な事業及び管理業務を皮切りに、業務内容のパッケージ化を引き続き目指したい。
- ・ 経営ガバナンスは、当会にとって必須のものであり、理事、正会員がその意義を深く理解しておく必要がある。同時に、資金調達、文書管理、監査体制の確立を目指す。
- ・ 「ひがたらぼ」が設置されて 7 年が過ぎたが、各所に老朽化が目立つようになってきた。しっかりとした建造物に更新するために、土地の確保、資金調達など課題は多いが、子どもたちの学習支援や社会教育、研究の拠点を維持発展していくため一丸となって取り組んでいきたい。
- ・ 来年、発足 25 周年となることから、記念行事、提言のとりまとめなどを行っていききたい。

⑧その他

- ・ 経営面では、今年も会員皆様のご協力が無事乗り切ることができ、繰越金も 100 万円程度残すことができた。繰越金の残高は 700 万円近くとなり、ネイチャーセンターの設立も視野に入っている。ただ、経営的には安定した状況とは言いがたく、財源の確保が引き続き課題となったままである。
- ・ 経営の効率化、分業の推進、ガバナンスの確立など課題は山積である。組織化について学習を重ね、メンバーと意見交換を行いながら進めていきたい。理念の共有が重要である。適宜学びの場をつくっていききたい。